

Information



埼玉県のマスコット「コバトン」

# 花とみどり

Vol. **64**  
2011.2.25



埼玉県花と緑の振興センターは、来園者に広く植物を知ってもらうため、現在、植木・鑑賞用樹木を中心に約2000種類・4600本の植物を展示しております。



埼玉県花と緑の振興センター

彩の国

# 生産者紹介

## ●第1回埼玉農業大賞 (農業ベンチャー部門優秀賞)受賞者

(株)グリーンファーム 齊藤代表 **齊藤 定良 氏**

野菜苗生産の先駆者として、年間300万鉢の野菜苗・花苗の生産を行い、ほぼ全量をホームセンターとの契約により販売するという、新たな経営スタイルを確立し、今後も規模拡大・経営発展が見込まれたことを評価され受賞されました。



### ■経営・技術の特徴

約80種類もの野菜苗・花苗を年間300万鉢生産し、ほぼ全量をホームセンターとの契約販売とする安定した経営を行っています。ホームセンター側に対し新しい作目や品種、さらに慣行にない作期の提案などを積極的に行い、計画的な周年生産・出荷体制を敷き、価格と雇用の安定を図っています。家庭菜園を対象とした消費者ニーズに答えるため多様な品種を扱い、商品解説のポップ添付で購買意欲を喚起するなど、需要の拡大を図っています。さらに、消費者に対してはホームページの開設で技術的なフォローも行っていきます。

栽培技術面では、簡易施設での単純化された作業工程でパート従業員の技術格差を解消し、作業動線の短縮による労働力の軽減を図っています。一方、全量を手かん水で管理す

るなど、きめ細やかな作業が商品の均一化・高品質化につながっています。

### ■地域農業への取り組み

近隣農家に対する生産技術指導、研修生の受け入れによる農業後継者育成への尽力、水稻採種組合の設立による新たな種子産地の育成など、幅広い分野で地域農業へ大きく貢献しています。

### ■これから

経営の主体を後継者に引き継ぎつつも、新規需要開拓による経営の拡大と労働力の安定確保・福利厚生充実など、課題解消に向けて新たな取り組みに意欲的です。

## ～安行園芸センター～ 若きホープ紹介

花と緑の振興センターに隣接する「農事組合法人あゆみ野農協安行園芸センター（中田 英一朗理事長）」は、組合員の経営安定や農業の担い手の育成支援及び生産振興を図り、さらに消費者との交流を通じ住みよい街づくりに貢献することを目的とし設立され、組合員が持ち寄った、植木・鉢物・盆栽の販売や各種造園緑化工事の施工・管理の他、園芸資材なども各種取り揃えた活発な事業を展開しています。

今回、園芸センターで組合員として活躍する若き担い手を紹介します。



温熱マット利用による育苗

### チームアップ 担い手 **中田 淳夫 氏 (31才)**

川口市安行の地で需要の動向に即応できるよう、ハナミズキ、ベニカナメ、タイサンボクなどの各種植木類の他、ギボウシなど宿根草を組合せた生産・販売を手がけています。

平成17年から18年にかけて国際農業交流協会海外研修で2年間、アメリカ（オレゴン州）の生産農家に企業的経営や技術を学び、現在、研修中に培った販路を活かし多種

品目を取り入れた経営を展開しています。目下、ほ場（安行殖産園）では掘取出荷の最盛期を迎え、また日夜、園芸センターでの業務や埼玉県植木生産組合連合会などの振興活動にと、忙しい毎日です。趣味は家族でのレース鳩飼育！過去、日本鳩レース協会主催の年間最優秀鳩舎賞を受賞するなど、熱が入ります。地域を支える若きホープです。



自然を生かした工作教室

## 「植木の里安行」の地域興しを応援

「安行花植木まつり」は、川口緑化センターが事務局を務める、「ようこそ植木の里安行魅力発信実行委員会」主催の行事で、春秋2回行われる「安行」最大のイベントです。当センターでは、平成21年10月の「秋の植木まつり」の時から、サテライト会場として協賛イベントを開催しています。

今回は、「ドングリを食べてみよう」、「自然を生かした工作教室」、「安行植木トレッキング」を実施しました。

特に安行植木トレッキングでは、安行・戸塚地域で本年度新たに公開された植木のプロがつくるオープンガーデンの、植木まつりに合わせて行われたオープニングイベントを支援するために取り組みました。このイベントの運営については、当センターの施設管理に

協力する園芸ボランティアの皆さんに御協力いただきました。

今後とも、「植木の里安行」地域の活性化にも積極的に取り組んでまいります。

## 1 屋上緑化

「花と緑の振興センター」では、全国有数の花植木の主産地である本県にあって、屋上などの通常の緑化が困難な舗装面を、県が開発した簡易で低コストな技術により県産花植木等を用い緑化していく取組を積極的に推進しています。

同技術は「安行四季彩マット」と呼ばれ、現在、当センターの技術指導を受け、「川口市都市緑化植木生産組合（松本孔志組合長）」が実用化し販売・施工を手掛けています。「彩の国みどりの基金」を財源に創設された「埼玉県みどりのモデル展示事業」で、同技術を用いて「そごう川口店」や「東京ガス埼玉支店」などこれまでに県内6ヶ所で大規模な屋上緑化が行われました。最終年の本年は熊谷駅ビル「アズ」（実施主体：JR東日本）で実施し県北にも普及拠点が誕生。緑化後は当センターが育成した園芸ボランティア等が中心となり協働でみどりの管理をしていきます。導入面積は、普及拡大の取組と相まって、ここ数年で飛躍的な躍進を遂げました。（H19：800m<sup>2</sup>→H21：2006m<sup>2</sup>）



熊谷駅ビル「アズ」屋上緑化

## 2 緑の衣作戦、県内に拡大中！

埼玉県では、植物を利用して屋上や壁面を緑化することにより、環境改善や夏季の気温上昇を抑える実践活動を「緑の衣作戦」と名付けて進めています。

花と緑の振興センターでは、様々な植物を用いた緑化にとりくみ、園内での展示を行ってきました。そこで好評だったオカワカメ、シカクマメ、エアポテトを、管財課と連携して本年度は県民が訪れる県有施設44か所に緑化のための苗木の配布などを行い、県内の各地で緑のカーテンとして活用してもらいました。また、オカワカメとエアポテトを使って、県庁第3庁舎に大きな緑のカーテンをつくり、モデル展示を行いました。来年度も7種類の苗木を配布して、様々な植物を利用した取組を行うことで、緑のカーテンの普及啓発につながればと考えています。



県庁第3庁舎の緑のカーテン



## イベントに参加しました

今年も各種イベントに参加、植物やマット植木などの出展をしました。サクラソウを展示した2つのイベントを御紹介します。

**日本園芸フェスティバル**が平成22年4月29日から5月9日まで、さいたまスーパーアリーナで開催されました。サクラソウ花壇と民具とを組み合わせた展示で、開催テーマ「ジャパニーズモダン・江戸の粋」を盛り上げました。

**関東東海花の展覧会**は各都県が持ち回りで主催する花の総合的なイベントです。今年は埼玉県が当番県。会場入り口の「埼玉の花」を紹介するウエルカムガーデンに、花と緑の振興センターからサクラソウを提供しました。真冬に咲かせたサクラソウはやさしくて、はかなげな姿で皆様をお迎えしました。



関東東海花の展覧会に展示したサクラソウ花壇



輸出盆栽の視察

## 盆栽の輸出振興支援

盆栽は、日本の伝統文化として海外における認知度も高くなり、その人気沸騰を背景に輸出が着実に伸びてきました。埼玉県では、約22名の生産者が輸出に取組み、年間2万鉢を超える盆栽を欧州諸国をはじめ、韓国、台湾等へ輸出しています。当センターでは、輸出に係る各種検査の事務手続きや、本年度は新たに輸出検疫対策の研修を実施するなど病害虫防除をはじめとする高品質生産に向けた各種栽培技術指導の支援を行っています。

# 花とみどりのプロムナード ～園長のひとこと～

花と緑の振興センターは、昭和28年4月埼玉県植物見本園として開所し、今年で58年を経過しました。開設当初から収集・展示している樹木は約2,000品種で、花梅やツツジ類、椿等全国でも多くの品種を保存しています。

昨年から、みどりの楽しみ方や育て方を知ってもらいたく、展示園を活かした観察会を催しています。多くの方々が参加され、センターの移り行く四季を楽しんでいただきました。

生産振興面では、全国一の盆栽類の海外展開に取り組んでいる埼玉県輸出盆栽研究会に対し、輸出に向けた植物防疫対策への指導支援を行っています。

人間に置きかえると満60歳と節目を迎えますが、本県花植木の生産振興、緑化思想の高揚・利用の拡大、緑を守り育てる指導機関として今後も休むことなく進化を続け、産業として自立できる企業経営者の育成はもとより、緑豊かな埼玉県づくりにまい進して行きたいと思えます。

本県の緑化産業は400年におよぶ伝統ある安行を核に発展してきました。時代の要求から経営は多様に分化し、生産面や流通面と



もに大きく変化して来ました。

安行を核とした植木生産は、個々独自の経営特徴を発揮し、安行にないものはないと言われてきました。オンリーワンの経営が集まり、結集しナンバーワンの大植木産地に発展してきたと考えています。

いまこそ、もう一度特色あるオンリーワンの経営を結集し、ナンバーワンの産地を強固にしようではありませんか。私は、他産地に打ち勝つには、ナンバーツーではダメで、ナンバーワンと思っています。

埼玉県に来ないと買えない植木がある、こんな素晴らしい花植木がある等、何でも揃う緑化の産地になって欲しいと考えています。

初心を忘れることなく頑張る所存です。今後とも御支援、御指導をお願い申し上げます。

## 展示樹木の観察会を開催しています

収集、保存している園内樹木を改めて御覧いただく「観察会」を、緑化講座の一環として開催しています。平成22年度は八重桜、モミジとカエデ、花梅、ツバキでの開催。所外からお招きした各講師先生のお話も好評で、これからも植物を活用したイベントを計画していきます。



モミジとカエデ鑑賞会

## リニューアルする花と緑の振興センター

～当センターでは、来園する県民等の一層の利便性向上を図るため、赤ちゃん駅の設置や西園トイレの改修、水洗化工事及び歩道橋の改修工事を実施しています。～



子育てママが気軽に利用(赤ちゃん駅)



西園トイレがリニューアル



西園と東園を結ぶ歩道橋

Information

花とみどり

平成23年2月25日発行

発行所／埼玉県花と緑の振興センター  
 発行人／埼玉県花と緑の振興センター 所長 関根家松  
 〒334-0059 埼玉県川口市安行1015  
 TEL：048-295-1806 FAX：048-290-1012  
 HP <http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/k32/>  
 E-mail [h951806@pref.saitama.lg.jp](mailto:h951806@pref.saitama.lg.jp)

